

新潟の概要

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せておきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。
会話が広がります。

令和8年2月9日(月)

雜感

3月7日の強歩会に向けて、ほぼ毎日ウォーキングを続けていく。週末のコースには立田山の頂上を入ねて、たまにすれ違う登山者の方と交わす挨拶は、心地よい取り組みで、これまで登った。始めた頃は心がくじけそうになる口もあつたが、ここまで続いている。面白がり満足かもしれないが、三日坊主で終わっていたらこの満足感は得られないからだ。以前、道場の授業において、「限界に流れられるだ」と題し講話をを行うことがある。偉い人がある。偉い人が語るのだ。途中で投げ出す訳にはつかない。これからも自分自身の歩む道と人生の選択肢は、まさに流れられることが多いのではないか。後悔の無い道を歩み、充実させていきたい。

【参考文献】
エコノミーの番組で面白い話がありましたが、そこで紹介します。
脳の老化を予防するためには何をすれば良いか、それには3つあります。
①適度な運動、これには歩くだけでも五感が刺激されますので、脳のあらゆる部分がフルで活動します。
②同じ田が運動した活動をする。例えば、料理、これは幾つもの作業を行って段取りも考えなければなりません。③細々としたことを自分でやる。例えは掃除、洗濯です。歳を重ねると健刐になることによって脳の老化活動を田介ぐしくして、が防げるのである。
そして、番組の最後に「新しいことに挑戦し続ける人」、「死ぬまで勉強する人」がいつまでも若くいられるのだとまとめられました。若い退した方々がその後の人生を充実させるために、趣味を持たねば—

私の中学時代 主体的行事の増加

中学校では運動会の霧笛音もカブリに変われば、名前も体育大会に変われば、更には学年発表会（我々の世代は文化祭と書いていました。）等も加わり、学生生活にも充実感が増してきます。

私の通った熊本市立鶴田中学校では、体育大会と文化祭は「父互」に行われるシステムで、1年、2年の時が文化祭、2年の時が体育大会でした。1年生の時はあまり印象はない文化祭ですが、2年の体育大会、3年の文化祭は充実感、達成感がありました。体育祭は200㍍走りレーの学級代表選ばれ、白山鷹足の世界ですが優越感に浸れた体育祭でした。3年時の文化祭で私の学級は何故か「ヨーロッパカル」白雲姫を披露するのです。私は簡単に白雲姫を口頭説いて渡す魔法使いのおねあさん役に、白雲姫のヨーロッパカルが終わつた後、時間が余つていたのでもう一度上瀧かと思われたのですが、当時流行っていた長岡剛の歌を友達のギターに合わせて、魔法使いの格好で歌つた私なのであります。ですがこの歌真面目ありませんが、今たつたゞじふさとから譲られたのでしようつねないむかったと思つ灑田です。

体育大会と文化祭の思い出ですが、とにかく「自分で楽しむか！」「自分で頑張るか！」と云ふ気持ちがあれば、中学校生活は充実し、充実すれば楽しむといつぱりゆつなかると云ふのです。なぜなら、中学校時代の仲間が多くてです。駆け寄れるこの本音の語句であります。だから、一番樂しかった時が中学校3年間でした。本校の年生も異常非、中学校時代を謳歌してもらつたのです。

※ 「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の可・不可）